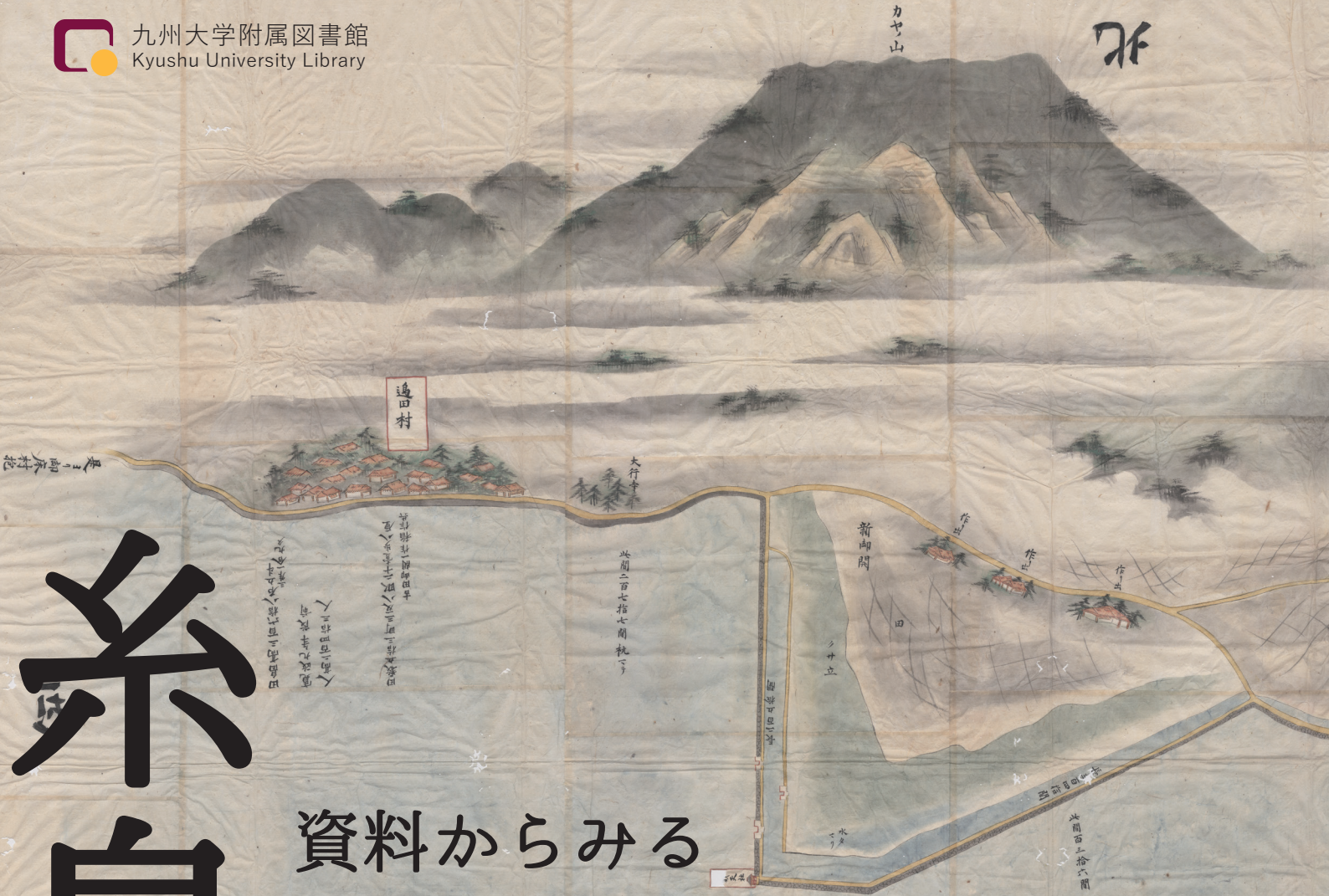


[060_2023]第60回附属図書館貴重文物展示：資料からみる糸島の歴史：近世における辺田潟の開発/船越鉄道と船越築港

<https://hdl.handle.net/2324/7162262>

出版情報：展覧資料，2023-11-01．九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：



糸島

ITOSHIMA

の歴史

資料からみる

伊都キャンパス 中央図書館・記録資料館 開館5周年
第60回九州大学附属図書館貴重文物展示

入場無料

2023年11月1日(水) ----> 11月30日(木)

九州大学中央図書館 3階エントランス
平日9:00-21:00 土日祝日10:00-18:00

近世における辺田潟の開発
／ 船越鉄道と船越築港

問合せ先:九州大学附属図書館 利用者サービス課サービス企画係
TEL:092-802-2481 E-mail:touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

■ 関連講演会

2023年11月21日(火)

14:50-16:20

場所:九州大学中央図書館 4階 Sky Cute.Commons
(オンライン同時配信あり)

講演者: **梶嶋政司**
(附属図書館付設記録資料館 助教)
原口大輔
(附属図書館付設記録資料館 講師)



※講演会是对面・オンラインでの参加ともに
図書館ウェブサイトからの事前申込が必要です。
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/form/20231121>

資料からみる 糸島の歴史

近世における辺田潟の開発 / 船越鉄道と船越築港

附属図書館では、本学が所蔵する貴重資料を広く公開するため、毎年、貴重文物展示を開催しています。今回の展示は第60回という節目にあたります。附属図書館が持つ歴史資料のうち、特に、付設記録資料館で保存する古文書等を公開します。

展示テーマは糸島の歴史です。近世から近代にかけての糸島半島西側の船越湾周辺における開発に焦点を当てます。

■ 近世における辺田潟の開発

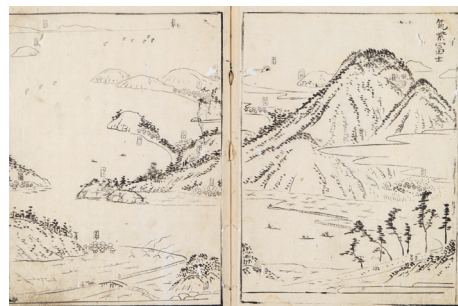
三苦家文書や三奈木黒田家文書に残された新田開発に関する資料を読み解き、そこから糸島地域の近世史を描きます。

■ 船越鉄道と船越築港

麻生家文書（寄託）に含まれる簿冊類や書簡を通じ、船越鉄道株式会社の創設と活動、船越湾開発の挫折といった明治期における糸島地域の開発構想を探ります。

加えて、中央図書館が所蔵する糸島地域の地図、自治体史等の地域誌も展示します。また、11月21日には、展示の監修者である記録資料館の梶嶋政司助教および原口大輔講師による講演会（参加無料）も開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

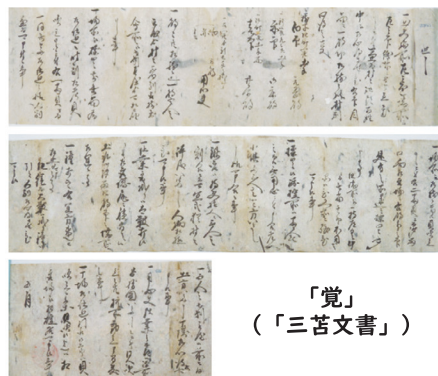
なお、本展示会の経費の一部は九州大学デジタル資料整備事業により皆様からご支援いただきました。心よりお礼を申し上げます。



筑紫富士（「筑前名所図会」）

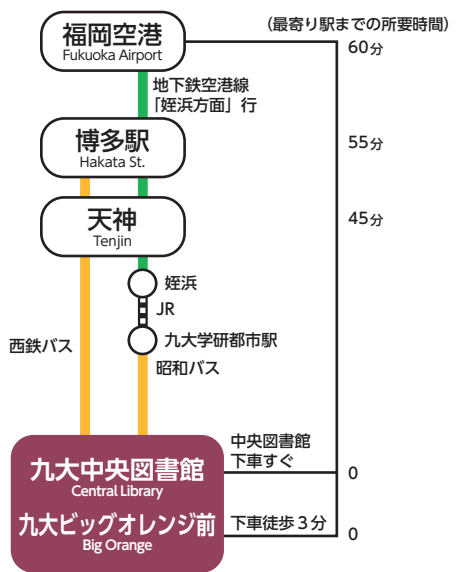


「船越鉄道平面図」（「麻生家文書」）



「覚」
（「三苦文書」）

九州大学附属図書館 中央図書館（伊都キャンパス）への経路



車で：福岡都市高速1号線 福重 JCTより西九州自動車道に接続
今宿 ICを降りて約15分



〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL : 092-802-2481

E-mail:touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp
https://www.lib.kyushu-u.ac.jp